

日本センチュリー交響楽団

ハイドン マラソン

Final Year

10年の歳月をかけて挑む大プロジェクト

いよいよ完結へー！

「太鼓連打」で始まるファイナルイヤー モーツァルトの華やかなオペラアリアとともに

ハイドン:交響曲 第42番 ニ長調 Hob. I:42 J. Haydn:Symphony No.42 in D major, Hob. I:42

モーツァルト:歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」K.588より

「彼に眼を向けてください」 ♡ 「女も15になれば」 ♡ 「女たちよ、あなたたちは」 ♡ 「男たちに、兵隊たちに」 ♡ W. A. Mozart:Così fan tutte, K.588 "Rivolgete a lui lo sguardo" "Una donna quindici anni" "Donne mie, la fate a tanti" "In uomini, in soldati"

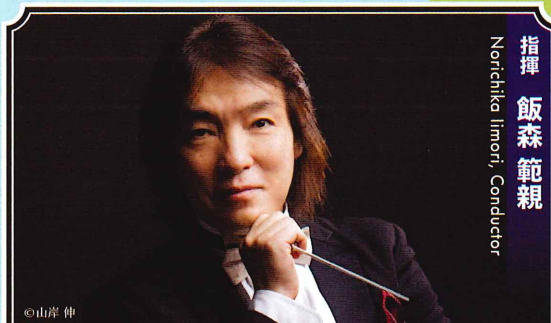
歌劇「フィガロの結婚」K.492より

「訴訟に勝っただと？」 ♡ 「恋人よ、早くここへ」 ♡ Le nozze di Figaro, K.492 "Hai già vinta la causa?" "Deh vieni non tardar"

歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527より

「お手をどうぞ」 ♡ ♡ Don Giovanni, K.527 "La ci darem la mano"

ハイドン:交響曲 第103番 変ホ長調 Hob. I:103 「太鼓連打」 J. Haydn:Symphony No.103 in E-flat major, Hob. I:103 "Drumroll"



指揮 飯森範親 Norichika Iimori, Conductor



ソプラノ 村岡瞳 Hironi Murakami, Soprano



バリトン 大西宇宙 Takao Onishi, Baritone

2024. 5.10 金 19:00 開演 (18:00 開場)

ザ・シンフォニーホール

A席 5,000円 / B席 4,000円

一般発売日 2024年 2月5日(月)

※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。予めご了承ください。 主催:公益財団法人日本センチュリー交響楽団 協力:ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ

▶ センチュリー・チケットサービス ☎06-6848-3311 (平日10:00-18:00)

ご予約

▶ センチュリー・ネットチケット(24時間) https://www.jcso.or.jp/ticket/

▶ ザ・シンフォニーチケットセンター ☎06-6453-2333 (11:00-16:00 火曜休)

▶ e+(イープラス) https://eplus.jp/



スペシャル スポンサー 地主株式会社 JINUSHI Co., Ltd.

スペシャル スポンサー 旭酒造株式会社

フレンドシップ パートナー GAMBIA OSAKA

オフィシャルスポンサー 栄光ホールディングス株式会社 / MKS MKSW-T / 株式会社エムズ住建設

ONKYO / kaneka / 共栄法律事務所 / KINCHO / TheSymphonyHall

新コスモス電機株式会社 / TCG 高松コンストラクショングループ / S Shadon / TAKUMA

TOYO TIRES / Hankyu / THE HILTON PLAZA / Phoxter

三井住友信託銀行

日本センチュリー

検索





# ハイドン マラソン

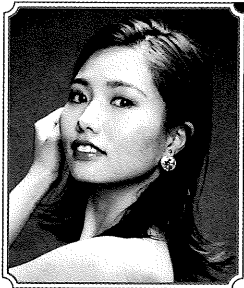


飯森範親マエストロと日本センチュリー交響楽団が挑む、ハイドン全104曲の交響曲を演奏、CD化する一大プロジェクト=ハイドンマラソン。ついに2024-25シーズン、ファイナルイヤーを迎えます!その初陣を飾るのは、“疾風怒濤期”の作品から軽やかな二長調の第42番と、最後から2番目の交響曲 第103番という組み合わせ。第103番は1楽章の冒頭と終わりに印象的なティンパニの長い連打が入ることから「太鼓連打」という愛称で親しまれています。ロンドンで作曲されたハイドン充実期の作品で現在でも演奏機会が多く、人気の一曲です。そしてハイドンと影響を与え合ったモーツァルト人気のオペラ「コジ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」から人気のアリアやデュエットをご用意。関西を中心に活躍する気鋭ソプラノ・村岡瞳、そして今や飛ぶ鳥を落とす勢いの活躍が光るバリトン・大西宇宙が華やかにお届けいたします。ハイドンとモーツァルトの世界、珠玉のオーケストラと声の饗宴でお楽しみください。



## 飯森 範親 Norichika Iimori / Conductor (日本センチュリー交響楽団 首席指揮者)

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年、東京交響楽団のヨーロッパツアーでは「今後、イモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係を保ち、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度中島健蔵音楽賞を受賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、ブラハムなどに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。06年の日本ツアーを成功に導き、2017年5月にはミュンヘンのヘルクスザールを始めドイツ国内のツアーにて指揮。同年9月にはポーランドのオルシテイン・フィルのシーズン開幕を指揮し成功を収めている。07年から山形交響楽団の音楽監督に就任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚ましい成果を挙げたことで2011年齋藤茂吉文化賞を受賞。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



## 村岡 瞳 Hitomi Muraoka / Soprano (ソプラノ)

大阪音楽大学声楽専攻卒業、卒業時に優秀賞を受賞、卒業演奏会に出演。同大学院声楽研究室オペラ系修了。第70回全日本学生音楽コンクール大阪大会第2位受賞、全国大会入選。第4回豊中音楽コンクール入賞。ウィーン国立音楽大学音楽セミナーマスタークラス、ディプロマ取得。オペラでは「フィガロの結婚」スザンナ、「メリー・ウィドウ」ヴァランシエンヌ、「ラ・ボエーム」ミミ、「ドン・ジョヴァンニ」ゼリリーナ、「魔笛」パパゲーナ、「劇場支配人」シルバークラング、「サリエリ」トリーナ役等で出演。その他、ベートーヴェン「交響曲第九番」ソプラノリストを務める他、文化庁委託事業「新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズ第64回大阪」に日本センチュリー交響楽団(阪哲朗指揮)と共演。松田昌恵、天羽明恵の各氏に師事。現在、大阪音楽大学演奏員、大阪音楽大学付属音楽院講師。



## 大西 宇宙 Takaoaki Onishi / Baritone (バリトン)

武蔵野音楽大学及び大学院、ジュリアード音楽院修了。シカゴ・リリック・オペラで研鑽。2019年にセイジ・オザワ松本フェスティバルにてルイーゼ指揮《エフゲニー・オネーギン》でオペラデビュー以来、国内外で《フィデリオ》《リナルド》《ジュリオ・チェザレ》《イオランタ》《こもり》《ローエングリン》《ニュルンベルクのマイスター・ジンガー》《椿姫》《愛の妙薬》《道化師》《ラ・ボエーム》《トゥーランドット》《仮面舞踏会》等に出演し、昨今では《ドン・ジョヴァンニ》題名役で絶賛され、2024年5月〜6月は飯森範親指揮新国立劇場《コジ・ファン・トゥッテ》に出演予定。管弦楽との

声楽作品のレパートリーはバロックから近現代曲まで幅広く、《メサイア》、《マタイ受難曲》、ベートーヴェン《ミサ・ソレムニス》ヴォーン・ウィリアムズ《海の交響曲》、ツェムリンスキー《抒情交響曲》、マラー《大地の歌》、《亡き子を偲ぶ歌》、ブリテン《戦争交響曲》、シュニーター《聖ヨハネの黙示録》等、高評を得ている。カーネギーホールにて《カルミナ・ブラーナ》、シベリウス《クレルヴォ》、《ドイツ・レクイエム》のソリストを務めた。CDは「詩人の恋」(ピアノ:小林道夫)をBRAVO RECORDSよりリリース。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。第25回ホテルオークラ賞受賞。



## 日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra 街に響く。心に届く。

1989年に活動を開始し、大阪府・豊中市を拠点に活動するオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者(2025年4月より音楽監督就任予定)を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。2023年10月には、11年ぶりの海外公演となる「マカオ国際音楽祭」に出演し、大盛況を収めた。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念のもとに、本拠地・豊中から日本中へ多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、活動している。2024年12月に楽団創立35周年を迎える。オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp>

2024  
HM.34  
3/1



HM.35  
5/10

HM.36  
6/20

HM.37  
10/10

GOAL!  
2025  
HM.38  
3/21

## ハイドンマラソン ファイナルイヤー(2024-25 ラインナップ)

指揮:飯森 範親 管弦楽:日本センチュリー交響楽団 会場:ザ・シンフォニーホール

HM.  
35

2024. 5/10(金)19:00 [ソプラノ/村岡 瞳、バリトン/大西 宇宙]  
ハイドン:交響曲 第42番、交響曲 第103番「太鼓連打」  
モーツァルト:歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」、「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」より抜粋

HM.  
37

2024. 10/10(木)19:00 [トロンボーン/ファブリス・ミリシエー]  
ハイドン:交響曲 第66番、交響曲 第31番「ホルン信号」  
M. ハイドン:アルト・トロンボーン協奏曲

HM.  
36

2024. 6/20(木)19:00  
ハイドン:交響曲 第24番、交響曲 第62番、交響曲 第81番

HM.  
38

2025. 3/21(金)19:00 [合唱/日本センチュリー合唱団]  
ハイドン:交響曲 第84番、交響曲 第104番「ロンドン」  
モーツァルト:アヴェ・ヴェルム・コルプス、レクイエムより「ラクリモザ」